

## 福祉常任委員会

開 催 日	令和5年9月12日
時 間	午前9時30分～午後1時53分
場 所	委員会室
出 席 議 員	山内 徳彦、浅妻 奈々子、久野 茂、高橋 哲生 岡山 克彦、小崎 進一、土本 千亜紀 (伊藤 嘉起議長)
欠 席 議 員	な し
出 席 理 事 者	永田市長 葛谷副市長 河口企画部長 岩田総務部長 石田市民環境部長 加藤健康福祉部長 三輪会計管理者 飯田総務部次長兼財産管理課長 辻総務部次長兼収納課長 松村市民環境部次長兼生活環境課長 吉野健康福祉部次長兼子育て支援課長 古川健康福祉部次長兼健康推進課長 岡田人事秘書課長 林企画政策課長 沢田企業誘致課長 服部財政課長 藏城市民課長 浅野保険年金課長 梶浦産業課長 下村西枇杷島市民サービスセンター所長 石田清洲市民サービスセンター所長 佐藤春日市民サービスセンター所長 鈴木社会福祉課長 寺社下高齢福祉課長 井上市民課課長補佐 清水市民課課長補佐 岡田保険年金課課長補佐 犬飼保険年金課課長補佐 米沢生活環境課課長補佐 岡田社会福祉課課長補佐 石田高齢福祉課課長補佐 幸村子育て支援課課長補佐 高山子育て支援課課長補佐 高木健康推進課課長補佐 坂下健康推進課課長補佐 黒川代表監査委員 吉田監査委員事務局長

関係職員	後藤議会事務局長 鹿島議会事務局次長兼議事調査課長 炭竈議事調査課係長
議案又は協議事項	1. 福祉常任委員会付託案件
備考	傍聴者 なし

( 時に午前 9時30分 開会 )

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

それでは、ただいまから、福祉常任委員会を再開します。

本日は、当委員会に付託された議案等のうち、健康福祉部所管について審査に入るわけですが、質疑者あるいは答弁者は、必ず挙手をしていただき、指名の後、名前を名乗ってから、質疑あるいは答弁に入ってくださいようお願いします。

各委員の質疑におかれましては、簡明で議題の範囲を超えない発言となるように心がけてください。なお、発言が明白な錯誤、趣旨不明瞭、不適切と判断した場合は、委員長において議事整理を行う場合もありますので、御承知おきください。

また、御自身や他の委員の質疑が終了した後、関連質問を行う場合は、その旨を宣言し、内容が逸脱しないよう心がけてください。

はじめに、認定第1号 令和4年度清須市一般会計決算認定について、所管ごとに、歳入、歳出、続けて説明をお願いいたします。

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長 (古川 伊都子君)

健康推進課長の古川でございます。認定第1号について、福祉常任委員会健康福祉部所管分につきまして、私から一括で朗読説明させていただきます。

令和4年度清須市歳入歳出決算書の18、19ページ、一番下の段を御覧ください。

13款分担金及び負担金、1項負担金、1目民生費負担金、予算現額1億7千328万円、収入済額1億2千203万7千110円、不納欠損額73万6千800円、収入未済額233万5千630円、1節社会福祉費負担金と2節児童福祉費負担金です。

2目衛生費負担金、予算現額2千514万3千円、収入済額2千489万5千846円、1枚はねていただきまして、20、21ページを御覧ください。

1節保健衛生費負担金のうち、備考欄の1行目、未熟児養育費負担金でございます。

14款使用料及び手数料、1項使用料、2目民生使用料、予算現額172万4千円、収入済額104万7千60円、1節社会福祉使用料です。

2項手数料、1枚はねていただきまして、22、23ページを御覧ください。

2目衛生手数料、予算現額1億5千905万1千円、収入済額1億5千651万1千30円、1節保健衛生手数料のうち、備考欄の2行目、犬登録手数料と、3行目、狂犬病予防注射済票交

付手数料です。

15款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、予算現額28億9千168万9千円、収入済額28億8千890万6千296円、1節社会福祉費負担金から3節生活保護費負担金までです。

2目衛生費国庫負担金、予算現額2億7千709万5千892円、収入済額1億8千646万8千273円、収入未済額136万6千200円、1節保健衛生費負担金です。

2項国庫補助金、1枚はねていただきまして、24、25ページを御覧ください。

2目民生費国庫補助金、予算現額9億2千892万8千340円、収入済額6億2千575万4千33円、1節社会福祉費補助金と2節児童福祉費補助金のうち、備考欄の1行目、子ども・子育て支援交付金から七つ目の新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金までと、一番下段、保育士等処遇改善臨時特例交付金（繰越事業費充当財源）と3節生活保護費補助金です。

3目衛生費国庫補助金、予算現額3億1千873万7千994円、収入済額2億2千463万5千円、収入未済額440万3千951円、1節保健衛生費補助金です。

1枚はねていただきまして、26、27ページ下段を御覧ください。

3項国庫委託金、2目民生費委託金、予算現額1千181万2千円、収入済額1千222万1千576円、2節児童福祉費委託金です。

16款県支出金、1枚はねていただきまして、28、29ページを御覧ください。

1項県負担金、1目民生費県負担金、予算現額10億9千631万6千円、収入済額10億9千467万7千93円、1節社会福祉費負担金のうち、備考欄の4行目、障害者自立支援給付費負担金から過年度障害者医療費負担金までと、2節児童福祉費負担金と3節生活保護費負担金です。

2目衛生費県負担金、予算現額120万2千円、収入済額150万1千32円、1節保健衛生費負担金です。

2項県補助金、2目民生費県補助金、予算現額5億4千130万1千円、収入済額4億8千302万3千398円、1節社会福祉費補助金のうち、備考欄3行目の地域生活支援事業費等補助金から介護施設等整備事業費補助金までと、2節児童福祉費補助金です。

1枚はねていただきまして、30、31ページ上段を御覧ください。

3目衛生費県補助金、予算現額3千590万6千円、収入済額3千2万6千150円、1節保

健衛生費補助金のうち、備考欄二つ目、一般不妊治療費助成事業費補助金から出産・子育て応援事業費補助金まででございます。

1枚はねていただきまして、32、33ページ中段を御覧ください。

3項県委託金、2目民生費委託金、予算現額6万3千円、収入済額7万6千846円、1節社会福祉費委託金と2節児童福祉費委託金です。

1枚はねていただきまして、34、35ページ中段を御覧ください。

18款寄附金、1項寄附金、3目民生費寄附金、予算現額125万7千円、収入済額625万6千円、1節社会福祉費寄附金と2節児童福祉費寄附金です。

6目衛生費寄附金、予算現額35万6千円、収入済額35万5千500円、1節保健衛生費寄附金です。

19款繰入金、1枚はねていただきまして、36、37ページを御覧ください。

2項基金繰入金、1目基金繰入金、予算現額8億4千240万5千円、収入済額8億4千240万5千円、1節基金繰入金、備考欄、福祉基金繰入金です。

21款諸収入、3項貸付金元利収入、1目貸付金元利収入、予算現額1億2千369万3千円、収入済額1億723万6千497円、収入未済額1千632万3千407円、1節貸付金元利収入のうち、備考欄3行目、災害援護資金貸付金収入です。

4項受託事業収入、1目民生費受託事業収入、予算現額2千675万6千円、収入済額2千903万4千802円、1節社会福祉受託事業収入と2節児童福祉受託事業収入です。

5項雑入、1枚はねていただきまして、38、39ページの中段を御覧ください。

2目雑入、予算現額10億3千310万1千円、収入済額9億8千523万571円、収入未済額5千744万8千39円、3節民生費雑入のうち、備考欄の1行目の清洲総合福祉センター光熱水費負担金から17行目、児童扶養手当等返還金までと、1行飛んで、自立支援医療費返還金と認知症高齢者等個人賠償責任保険精算金、1行飛んで、電話使用料、コピー使用料まででございます。

1枚はねていただきまして、40、41ページを御覧ください。

4節、衛生費雑入のうち、備考欄の1行目の成人健康診査等受診者負担金と看護実習生等委託金です。

22款市債、1項市債、1枚はねていただきまして、42、43ページを御覧ください。

2目民生債、予算現額1億8千400万円、収入済額1億8千400万円、1節社会福祉債で

す。

令和4年度一般会計歳入決算の健康福祉部所管分につきましては、以上でございます。

続きまして、一般会計の歳出に移らせていただきます。各担当課長より御説明いたします。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課長、鈴木でございます。歳出を説明させていただきます。

58、59ページを御覧ください。

社会福祉課所管分です。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、予算現額32億7千647万6千550円、支出済額30億5千439万8千636円、1節報酬から1枚はねていただきまして、60、61ページを御覧ください。27節繰出金までです。

1枚戻っていただき、58、59ページの備考欄を御覧ください。

4行目、社会福祉費から22行目、社会福祉協議会事業費補助金までと、1枚はねていただき、60ページ、61ページの備考欄10行目から15行目の介護保険特別会計繰出金につきましては、高齢福祉課所管分になります。21行目の住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金費から40行目の住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付費までについては、社会福祉課所管分になります。主なものとしましては、物価高騰の影響が大きい住民税非課税世帯に対し支給した電力・ガス・食料品等物価高騰緊急支援給付費でございます。

2目障害者福祉費、予算現額22億6千593万6千円、支出済額22億3千285万9千698円、1節報酬から1枚はねていただき、62、63ページを御覧ください。22節償還金、利子及び割引料までです。主なものは、障害のある方が地域での自立した暮らしを支援する障害者総合支援費でございます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下でございます。

同じく62、63ページを御覧ください。

高齢福祉課所管分です。

3目高齢者福祉費、予算現額2億919万4千円、支出済額2億557万1千806円、7節報償費から19節扶助費までです。備考欄下から5行目の後期高齢者医療健診費については、健康推進課所管分になります。主なものとしまして、特別養護老人ホームかもだの里の建設費助成費及びひとり暮らし高齢者世帯に対する事業費です。

5目社会福祉施設費、予算現額3億4千234万2千円、支出済額3億3千880万2千394円、1節報酬から1枚はねていただきまして、64、65ページを御覧ください。17節備品購入費までです。

ページお戻りいただき、備考欄4行目の清洲総合福祉センター費については、社会福祉課所管分になります。主なものとしまして、各施設の管理費及び施設の老朽化に伴う整備費です。

高齢福祉課所管分は、以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

子育て支援課長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。引き続き子育て支援課所管分の歳出について、御説明いたします。

同じく64、65ページ中段を御覧ください。

2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、予算現額24億7千444万9千790円、支出済額23億4千8万6千744円、1節報酬から22節償還金、利子及び割引料までです。繰越明許費101万円は、子育て世帯生活応援給付金事業費です。主なものは、ゼロ歳から中学校終了前の児童を養育している保護者等に手当を支給する児童手当支給費です。

備考欄上から6行目、児童福祉事務費324万3千450円のうち、子育て支援所管分は304万3千450円で、子育て情報アプリ「キヨスマ」のウェブサイト維持管理委託費や、令和3年度子ども子育て支援交付金の国への返還金などです。

下から10行目、子育て世帯生活応援給付金給付事務費1千68万3千568円のうち、子育て支援課所管分1千60万7千130円と、その下、子育て世帯生活応援給付金給付費7千615万8千700円のうち、子育て支援課所管分6千370万円は、未就学児への1万円給付及び高校生相当への1万5千円給付に係る事業費です。

また、下から4行目、繰越明許費繰越事業、子育て世帯への臨時特別給付金給付事務費と子育て

て世帯への臨時特別給付金給付費は企画政策課所管分です。

1枚はねていただきまして、66、67ページを御覧ください。

2目母子福祉費、予算現額2億4千978万2千円、支出済額2億3千803万8千110円、1節報酬から19節扶助費までです。主なものは、18歳未満の児童を養育している父子又は母子家庭などに手当を支給する児童扶養手当支給費です。

3目保育所費、予算現額15億4千910万4千円、支出済額14億6千482万9千660円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、公立保育園12園の管理費及び事業費です。また、保育園で園児に提供する給食に係る賄い材料費の保育園給食費です。

1枚はねていただきまして、68、69ページを御覧ください。

4目児童館費、予算現額2億6千241万1千円、支出済額2億5千315万3千665円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、児童館を運営するに当たり必要な光熱水費や修繕費、清掃等各種委託料などの児童館管理費です。

5目児童福祉施設費、予算現額3千133万8千円、支出済額3千32万6千979円、1節報酬から1枚はねていただきまして、70、71ページを御覧ください。17節備品購入費までです。主なものは、母子通園施設たんぽぽ園を運営するに当たり必要な光熱水費や修繕費、清掃等各種委託料などの母子通園施設管理費です。

6目子育て支援センター費、予算現額3千437万4千円、支出済額3千411万2千992円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、各子育て支援センターで必要な修繕費、通信料、複写機の借り上げ料など、子育て支援センター管理費でございます。

以上が、子育て支援課所管分の歳出となります。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課長の鈴木でございます。

3項生活保護費、1目生活保護総務費、予算現額2億3千352万円、支出済額2億2千873万9千560円、1節報酬から1枚はねていただき、72、73ページを御覧ください。22節償還金、利子及び割引料までです。

2目生活保護扶助費、予算現額9億1千822万4千円、支出済額8億9千836万1千862円、19節扶助費です。

4項災害救助費、1目災害救助費、予算現額15万8千円、支出済額2万7千698円、10節需用費から19節扶助費まででございます。

社会福祉課所管分の説明は、以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

健康推進課長の古川でございます。続きまして、健康推進課所管分について、御説明いたします。

72、73ページをお願いいたします。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、予算現額2億7千586万3千円、支出済額2億7千251万1千260円、1節報酬からはねていただきまして、74、75ページをお願いいたします。18節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものは、西春日井2次救急医療負担金でございます。

2目予防費、予算現額11億4千335万6千886円です。支出済額8億8千798万4千909円、1節報酬から22節償還金、利子及び割引料までです。主なものは、予防接種費、がん検診費、妊産婦健康診査費、新型コロナウイルス予防接種費、出産・子育て応援金費、繰越明許費繰越事業です。出産・子育て応援金は、全ての妊婦、子育て世代が安心して出産、子育てができるよう伴走型相談支援の充実及び出産・子育て応援金を支給するものでございます。

令和4年度一般会計歳出決算書の健康福祉部所管分につきましては、以上でございます。

御審議よろしくをお願いいたします。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

それでは、質疑に入りますが、質疑についてはページごとに行います。

最初に、歳入の18、19ページ。

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

民生費負担金の保育料について、お聞きいたします。

不納欠損額の内容について、もう少し詳しくお聞かせいただけますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。

令和4年度の保育料の不納欠損につきましては、件数といたしまして57件、金額といたしまして107万7千900円、こちらのほうを不納欠損としております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

不納欠損に至るまでの対応とか、そういったものはどのようにされてますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

吉野でございます。

毎月、口座振替が不納の方や月末に振込がされていない方に関して、振込についての案内文と納付書のほうを送付しております。さらに、過去、支払っていただけていない方にいたしましては、年2回、案内文と納付書のほうを送付しております。

また、そういったことをさせていただいても、お支払いいただけない方につきましては、児童手当の支払いのほうを現在、口座振込しているものを現金支払いのほうに変更いたしまして、案内文を送付した上で、窓口へ受け取りに来ていただいて、納付してもらうようお願いをさせていただいております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

様々な理由があると思いますけれども、引き続き丁寧な仕事をよろしく願いいたします。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

はい。それでは、ほかに質疑のある方。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

次に20ページ、21ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

22ページ、23ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

24、25ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

次に26、27ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

28、29ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

30、31ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

32、33ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

34、35ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

36、37ページ。

( 「なし」の声あり )

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

38、39ページ。

久野委員。

久野 茂委員

久野です。

38、39ページのところで、生活保護費返還金の内訳をお願いします。内容を。

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長 (鈴木 許行君)

社会福祉課の鈴木でございます。

生活保護費返還金の中身につきましては、まず、種類につきましては、2種類ございます。内訳としましては、主に年金を申請したんですけども、受給されるまでに時間がかかって、その間の立替分を払ってるようなもので、遡及受給したものでございます。ここで言いますと、63条の返還になっております。件数は101件、金額は877万5千403円でございます。

二つ目につきましては、主に働いた分があるにもかかわらず、未申告であったもの、法でいいますと、78条というものになります。

こちらのほうにつきましては190件で、242万9千926円となっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

久野委員。

久野 茂委員

今後とも適正に実施に努めていただきますよう、よろしく申し上げます。

以上です。

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

保育園児の給食費について、お尋ねいたします。

先ほども説明したのとよく似てますけれども、保育料の不納欠損についてお尋ねいたしますが、給食費では、未納件数はありますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。

保育園児の給食費の未納につきましては、令和4年度分につきましては136件、金額にいたしまして、67万2千760円が収入未済となっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

保育料の対応と同じ対応しているという理解でよろしいでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

未納分の対応につきましては、先ほどの保育料の対応と同じような形をさせていただいております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

今後も努力よろしく願いいたします。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほかに質疑のある方。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

では次、40、41ページ。

( 「なし」の声あり )

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

歳入最後の42、43ページ。

( 「なし」の声あり )

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

それでは次に、歳出に移ります。

58、59ページ。

久野委員。

久野 茂委員

久野です。

58、59ページのちょっと民生委員の改選がありましたよね。これ、何人の方が新しくなられたか、成果報告書にも載ってますけど、お願いします。

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長 (鈴木 許行君)

社会福祉課の鈴木でございます。

令和4年12月に民生委員の方、一斉改選が行われました。83名の民生委員、児童委員、主任児童委員の中で、26名の方が新しく委員になりました。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

久野委員。

久野 茂委員

久野です。

これは、全国的に見て民生委員の成り手というか、あれが不足してるように聞いているんですけど、欠員のある自治体もあると聞いてますが、市は、定数は確保されているんでしょうか。

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長 (鈴木 許行君)

社会福祉課の鈴木です。

改選前と同じ83名の方が委員になられております。清須市におきましては、欠員が出ている地区はございません。

あと、民生委員の定数につきましては、国の通知により基準のほうを参考にして、市町村ごとに管内の人口、面積、地理的な条件、あと見守り等が必要な方の人数を総合的に判断をして、地域の実情を踏まえた弾力的な定数を設定することとなっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

久野委員。

久野 茂委員

ありがとうございます。

今後とも民生委員の方については、引き続き地域福祉の推進、そして、安心して住み続けることができる地域づくりに取り組んでいただきたいと思います。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

高橋です。

国民年金費についてお尋ねしたいです。これ、これ違うか。違いました。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

それでは次、60、61ページ。

久野委員。

久野 茂委員

58ページの社会福祉総務費ですが、補正が4億5千万円程度ありますが、ちょっと内訳というか、内容をお願いいたします。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木です。

こちらのほうの補正の内容につきましては、主なものにつきましては、決算書の60、61ページのほうに載っております、中段に載っております住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、あと生活支援金、あと物価高騰緊急支援対策費のほうに対するものでありまして、給付金に係る事務費、あと給付費のほうで補正をさせていただいたものでございます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

久野委員。

久野 茂委員

ありがとうございます。

コロナ禍における物価高騰により、生活に困窮されてる方への対策の支給だと思いますが、何人に送付して、どのぐらいの割合の方に支給されたのでしょうか、お願いいたします。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木です。

まず、世帯全員が住民税非課税世帯等に対する方に対しまして、確認書のほうを送付させていただきました。住民税非課税世帯等生活支援給付金につきましては、5千123世帯の方に通知を出しました。そのうち、申請された方の割合につきましては、90.3%になっております。

二つ目、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金につきましては、5千117世帯の方に通知を発送いたしまして、申請された方の割合につきましては、91.3%でございます。

三つ目の住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金につきましては、令和3年度、4年度、2年またがるような給付金でございました。5千811世帯の方に通知をいたしまして、申請された方の割合につきましては、90.9%となっております。

なるべく多くの方に申請していただくようなことを考えておりまして、市のほうのLINE、あと市ホームページ、毎月、広報のほうにも周知、記事を載せさせていただきまして、給付金制度の周知に努めてまいりました。

以上で、ございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

久野委員。

久野 茂委員

久野です。

ありがとうございました。

今後、同じような制度があれば、必要とする方に情報が届くよう発信していただきますよう、よろしく願いいたします。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほか、60、61ページは、いかがでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

では62、63ページ。

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

3目高齢者福祉費、介護施設等整備事業費補助金について、この補助金は、何に対する補助金でしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下でございます。

この補助金は、国が、療養型医療施設を介護医療院へ令和5年度までに転換するよう期限を設けておりまして、療養型医療施設であった新川病院が、介護医療院へ3か年の転換工事を行ったものです。令和4年度が、その3年目に当たりまして、転換事業の最終年となり、出来高の補助と開設準備経費等支援事業に対して補助金も行っております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

これ成果報告書の105ページに載ってますけど、それぞれの金額ですね、これ成果報告書に

記載されている金額でしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

はい、そのとおりでございます。

介護療養型医療施設等転換整備支援事業費補助金が約3千600万円、開設準備経費支援事業補助金が約790万円となります。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

それでは、これ市の負担はないということで、とってもよろしいでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

寺社下でございます。

これは国が3分の2、県が3分の1の負担で、市の負担はございません。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

これですね、工事が終わったとみてよろしいでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

寺社下でございます。

令和2年度から工事を実施しまして、令和4年度で終了をしております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

介護医療院となり、どの点が変わったのか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

寺社下でございます。

介護医療院へ転換されたことによって、居室が広がりまして、プライバシーの確保のための仕切りの配慮などが充実されて、生活がしやすい居室空間となっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

介護医療院は、吸引や経管栄養といった重度の医療サービスも受けられ、大きなメリットの高い施設もあり、また、市内の高齢者が、安心して入居できるような施設になったのは、いいと思います。ありがとうございます。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほかに、このページは。

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

成年後見センター設立準備委員会の件で、お伺いしたいと思います。

成果報告書のところで102ページになります。昨年度は、準備委員会ということで設定をされておりますけれども、今年度の6月から、実際にこういったセンターを立ち上げられたと思います。まだ立ち上げられて3か月ちょっとぐらいかなと思うんですけれども、現在、どれぐらいの問合せがあり、また、相談等ありますでしょうか、分かる範囲内で教えていただけますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

寺社下でございます。

令和5年6月から、開設にはなりましたが、4月、5月、準備期間にも御相談をお受けいたしまして、問合せがあったのは、この4月から8月まで、月平均約55件ほど、相談に関しましては、月平均30件ほど御相談をいただいている状況です。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

結構、問合せがあるなというのもすごく感じましたし、実際、これどういう制度なんですかということとか、どういったところへ電話したらいいですかという問合せは、実際に、私もお受けすることもございます。現在は、どういった体制で相談等を受けられていますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

寺社下でございます。

センター業務を清須市社会福祉協議会へ委託をさせていただいております。現在、社会福祉士の有資格者の正規職員を1名、非正規職員を1名、合計2名を配置して、相談等に当たっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

現在2名体制ということですが、今現在、非常に相談件数、また問合せ等も多いということで、今後、またこういった御相談とか多いと思うんですけども、この先、まだ始まって間もないですが、今後どういったように運営していくのかというお考え等があれば、教えていただけますで

しょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

現在も、市の広報ですとか、社会福祉協議会の広報、ホームページの掲載ですとか、いろいろな場、例えば民生委員さんの連絡協議会ですとか、介護保険の居宅介護支援事業所と障害のほうの相談支援事業所などのいろいろな団体のほうに、リーフレットをお渡ししながら、説明もさせていただいております。この制度について、より多くの方に知っていただいて、相談しやすい体制をつくっていきたいと思っております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

今、課長がおっしゃったように、市民の方に、どれだけたくさん周知していくというのが、今後また相談していきやすいことだと思いますし、こういったことで、誰に相談したらいいかなというふうに、誰にもちょっと言いづらいことだと思いますので、皆さんから相談等があれば、しっかり対応していただきたいなというふうに思います。

続けて、もう一点だけ質問させていただきます。

高齢者の成果報告書の107ページ、108ページの在宅高齢者の助成費というところで、108ページのところに、（5）に高齢者のエアコン購入費の助成金補助金という項目がありますがけれども、令和4年は5件というふうに報告がありました。

当初見込みは、10件ほどだったと思いますがけれども、約半分ぐらいの方が申請されたというぐらいになりますか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

寺社下でございます。

見込みに関しましては、既にこの制度を実施しているほかの自治体の申請件数を参考に算定を

いたしました。実際には5件という申請になっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

こういった申請、高齢者の方のエアコンの補助の申請になりますので、実際に御本人がいらっしやることもあると思いますけど、やはり地域の民生委員さんたちが声をかけてくださっているというの、現状ございますか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下でございます。

令和4年度、今年度も含めてですけれども、民生委員の方にひとり暮らし高齢者の実態調査を実施していただいております、その際に、制度の周知や申請の勧奨を依頼しております。

あと、市内のエアコン事業者にもリーフレットを配布して、説明をさせていただいて、エアコンの購入の際、対象となれば、声かけをしていただくようお願いをしております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

地域でよくひとり暮らしの高齢者の方の実態を御存知なのは、民生委員の方、地域の方だと思いますので、今後ともこういった申請があれば、積極的に声をかけていただきたいと思っておりますし、今、令和5年ですけれども、今年の夏は災害級の暑さということで、6月頃から非常に暑い日が続いたわけです。今年度に関しては、ちなみに分かっているところで、申請等何件ぐらいあるか、分かれば教えていただけますか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下でございます。

令和5年度の申請件数は、今のところ1件になっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

非常に暑かったので、ちょっと多いのかなと思ったんですけど、まだ1件で、これでちょっと涼しくなってきたので、ちょっとどうなる分らないですが、こちらも大事な施策の一つだと思いますので、また引き続きよろしくお願いします。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

シルバー人材センター費について、お伺いいたします。

成果報告書の116ページです。年々会員数が減っているよう感じになっておりますけども、この理由とかは、何かあるんでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下でございます。

年々、減少している理由として考えられるのが、国において現在進められている70歳定年制が、大きな要因というふうに考えられます。特に、65歳から69歳の会員になられる方が減っております。5年前に比べて、65歳から69歳の会員の方は約4割減っております。逆に80歳以上の会員の方が1.4倍というふうで増えておる現状です。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

会員数の目標とか、そういったものはあるんでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下です。

シルバー人材センター連合会の第2次100万人達成計画というものがございまして、それによると、清須市の目標は454人となっております。令和4年度の会員は、347人というふうになっておりますので、人数に乖離がある状況です。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

会員数を増やすために、どういったことをされていますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下です。

会員を増やすために、市のホームページ、広報清須に掲載をしたり、ボランティア活動の際にPR用のポケットティッシュを配布したりしております。あと、シルバー人材センターのホームページを一新しまして、見やすく、会員に入りやすいように配慮をしているとのこと。

今年度はコロナも落ち着いたということもあるのか、毎月、開催させていただいている入会説明会に参加される人が、以前と比べて増えているというふうな報告を受けております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

シルバーのお仕事というのは、十分あるんでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下です。

草取り、除草や木の剪定、施設管理などの請負や、派遣などがございますが、特に除草や剪定に関しましては、需要が多い状況なんですけれども、就業可能な会員の方が少なく、断っているということも起こっている状況です。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

ありがとうございます。

シルバー人材センターを含め、高齢者が働くということは、収入にもつながることはもちろん、高齢者の方々の生きがいづくりにもなります。ひいては介護予防につながっていきます。今後も多くの方々が会員になれるよう一層、PRをしていただきたいと思います。

以上で終わります。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

成果報告書の109ページです。

高齢者セーフティネット対策費、昨年度に比べて約220万円増額となっております緊急通報システム、配食サービスの利用者等も増加してはいますが、状況はどうでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下です。

利用人数につきましては、緊急通報システムについては前年度比107%、配食サービスの利用人数も前年度比115%と、この2つの制度の利用は増えております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

高齢者の人数は、どのようになっていますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下です。

65歳以上の全体の人数は、大きく人数としては増えておらず、高齢化率も23.4%台で推移しておりますが、65歳から74歳までの前期高齢者に比べて、75歳以上の後期高齢者の方々の人数が増えている状況です。そのため、食事などを自分で作ることが困難になってくる方も増えて、配食サービスの利用者が増加していると思われれます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

それでは、ひとり暮らしの高齢者の人数は、どのようになっていますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下です。

ひとり暮らし高齢者の人数は増加しておりまして、令和5年4月1日現在で、約4千人と高齢

者の方全体の25%となっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

ひとり暮らしのみでなく、高齢者世帯の状況はどのようになっていますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下です。

高齢者のみの世帯に属する高齢者の方の数は、約1万200人いらっしゃいまして、高齢者の方の約6割の方が、おひとり暮らしか高齢者のみの世帯の方というふうになっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

この夏は特に暑くて、熱中症関係の危険も高く、高齢者の方は急な体調変化もあったと思います。高齢者の見守りに関して、協定を結んでいたと思いますけど、どのようになっていますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下です。

現在、46の事業所と協定を結んでおります。令和4年度につきましては、新聞店から9件、銀行から1件、合計10件通報をいただいております。そのうち、救急対応させていただいたのが1件、残念ながら既に死亡されていたのが2件ございました。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

今後、本市においてひとり暮らしの対策ですね、どのような考え方の下、実施していくのか、よろしくをお願いします。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下です。

高齢者の方が、おひとり暮らしの方もですけれども、住み慣れた地域で安全安心に暮らせるよう、地域住民や事業所による見守り活動や住民同士の支え合いの仕組みを推進してまいりたいと思います。

また、緊急時の対応ですとか、住み慣れた地域社会での生活の支援を目的として、在宅生活での高齢者福祉サービスの充実を引き続き図ってまいりたいと思います。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

ありがとうございます。

今後も後期高齢者は、増加すると思います。また、ひとり暮らしですね、高齢者の世代の方が安心して生活できるよう緊急通報システムや配食サービス、これはとても有効であります。これからも様々な関係機関と連携を図って、支援をお願いします。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

高橋です。

心身障害者等タクシー料金助成金について、お伺いしたいです。

利用券1枚につき650円が上限ということになってるんですけど、昨今の物価高騰の中で、名古屋市は上限額830円に上がったと聞いておりますが、本市において、この額の見直し等の検討というのは、どのようになっているのでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木でございます。

本市におきましては、1枚650円で、年間で120枚のチケットのほうを交付させていただいております。他市に比べましても、交付枚数のほうは多いような状況ということは認識しております。額については、このままということで考えております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

枚数が多いから、上限額は今、上げる考えはないということですか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木です。

はい、そのように考えております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

これって枚数、利用者の方というのは、平均して何枚ぐらい使われてるのでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木です。

お一人につきまして、大体29枚ほど使ってみえます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

29枚。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

はい、29枚です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

そうすると、思ったより120枚は多いんだけど、あんまり使っていないということなんだよね。そうすると、これ考え方にもよるんですけど、650円というのは、近隣のやつと比べて、ちょっと見させていただいたんですけど、ちょっと低い状況です。

ただ、枚数は確かに多いんですけど、実際使っていないということなので、ここら辺、利用者さんの使いやすいような形で、今、考えてないということなんだけど、考えていただいたほうがいいんじゃないかなあと思いますので、よろしくお願いします。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

答弁よろしいですか。

それじゃ、次に64、65ページ。

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

浅妻です。

子ども家庭総合支援拠点運営費について伺います。

先日の報道でも、児童相談所が相談を受けて対応した虐待の件数が、過去最多ということも出ていまして、こういう総合支援拠点のような事前に相談できるような窓口が、大変重要なものだと思っております。

成果報告書の132ページに、相談件数ということで相談内容別に件数が出ているんですけれ

ども、令和3年度の成果報告書では、虐待という項目がなく、虐待も含めた養護相談となっていたと思いますが、この虐待と養護相談の違い、どのような相談が虐待になっていて、どのようなものが養護相談に分類されるのかというのを教えてください。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。

主に虐待というのは、身体的、性的、心理的、ネグレクト、こういった4項目が対応をしているということで計上をしております、それ以外の養護相談でいいますと、生活困窮だとか、例えばですけども、ごみ屋敷であったり、母親が病気でその世話をしているだとか、ちょっと親が家にいないとか、親の養育能力が低い等が主に計上されている場合が多いと考えております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

ありがとうございます。

きちんと分けて対応していただくことで、適切な支援ができると思いますので、対応をお願いいたします。

これら大体、2千件近い相談があるわけで、延べだと思いますので、この中に同じ方が何回も相談される方もいると思うんですけども、これらの相談があった方々には、どのような対応がされているのか、必ず訪問されるのかとか、そういった対応の方法と申しますか、教えていただけますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。

通報がありますと、まず、子どもに会ってお話を聞いたり、学校や保育園などを訪問して聞いたり、あと、家庭のほうを訪問して、親御さんのほうにもお話を聞いたりするようなこともございます。また同時に、子どもの所属している機関のほうからも情報をもらうこともございます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

ありがとうございます。

子どもに直接、お話を聞いていただけることもあるということで、すごく安心いたしました。

実際にこれだけの相談件数があつて、子どもを保護するですとか、実際の生活支援に入るといふような、ちょっと線引きが難しいですけども、その深刻と捉えられるようなケースが大体どれぐらいの件数なのか、パーセンテージなのか、もし分かりましたら教えてください。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。

この深刻と思われるものを基本的に児相のほうへ送致をしておるんですけども、そういった件数が8件ほどございました。

具体的に申し上げますと、お子さんが泣き始めたということで、お母さんのほうから叩かれたりとか、蹴られたりした案件だったりとか、首の下のところにあざがあつただとか、お父さんからそういったことがあつたというような案件等々、虐待が中心なものだと思っております。

すみません、これについては、外のほうで出さないようお願いしたいと思います。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

浅妻です。

詳しく教えていただきましてありがとうございます。

こういった児相に連絡するようなケースがあつた場合には、その後どのように児相のほうと連携を取られて、見守っていくような体制が今あるのでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

吉野でございます。

要対協のほうの会議のほうに諮っていただいて、見守っていくような状況だと思っております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

ありがとうございます。

本当に手遅れになるようなことがないように、今後もしっかりと見守っていただければだと思  
います。

また、今回ちょっと事業費のほうが増えてまして、その増えた分が主に児童相談システム費に  
なると思うんですけども、まず、これはどのようなシステムなのか教えていただけますでしょ  
うか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課、吉野でございます。

こちらのほうのシステムにつきましては、要保護児童の記録管理のほうを、効率化を図りまし  
て、児童相談所や自治体間での迅速な情報共有を可能といたしまして、児童虐待事案の対応のほ  
うが素早く適切に対応ができるようなシステムでございます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

ありがとうございます。

誰が見てもというか、すぐに情報共有ができることは、非常に大切なことだと思います。また  
少し児童相談システムで調べてみると、ケース経過の把握だったりとか、書類制作などの事務負  
担軽減というようなことも書いてあるものもあったんですが、その業務効率化というところでも、  
一役買ってるんでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

吉野でございます。

システムで導入する前は、一人一人をE x c e lのほうで管理しておったんですけども、そういうものが、システムの導入で相談履歴が一目瞭然となって、また、計画のほうが把握しやすくなりました。あと、転出した際の児相への送致の書類作成の時短にもつながっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

ありがとうございます。

システム導入していただいて、十分に活用していただいて、その分、本当に相談とか対応のほうに専門家の方々、時間を注いでいただけたと思いますので、より一層の支援をよろしくお願ひします。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

今の浅妻委員の質問に、少しお聞かせいただきたいところがあります。

この子ども家庭総合支援拠点運営費については、今御説明いただきましたけれども、こういった様々、家庭でいろいろな問題が起こっている家庭というのは、一つの問題じゃなくって、二つ、三つ、四つと、たくさん問題抱えてみえると思うんです。虐待とか育児放棄なんかもちろん、今お答えいただきましたけれども、その他にも、小さいお子さんをちょっと上の兄弟の方が面倒を見てたりするヤングケアラーの件とかも、やはりこういった家庭を訪問したりとか、ここのお宅ちょっと見ておいたほうがいいよというようなお宅からは、こういった問題も出てくると思うんですけども、そういったときは、やはりこの市のこういった体制の中で、連携とかそういった体制等はどのようにされているのか、教えていただきますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。

ヤングケアラーのお話かと思えますけれども、学校のほうで、そういったまず情報を得ることが多いと思いますので、学校のスクールソーシャルワーカー、そちらのほうも要対協のメンバーに入っておりますので、そちらのほうで情報を共有いたしまして、対応に当たっておる状況でございます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

ありがとうございます。

学校のほうでは、ちょっとここ委員会が違うのであれですけども、私からもちょっと言えませんが、家庭からこういった問題も発生してきたりするので、ヤングケアラーのことだったり、DVのことだったりするので、そういったことをこの担当、今おっしゃったように、学校教育のほうと連携したりとか、そういった体制を取られているということによかったですかね。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

はい。ということでございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

今、大変、社会的に大きな問題でもありますので、本当に気づかないところで困ってみえる方、本当に一人悩んでみえる方はいらっしゃると思いますので、そのあたりも情報等しっかりつかんでいただきながら、対応をお願いしたいと思います。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

それではここで、10時50分まで休憩とします。

（ 時に午前10時38分 休憩 ）

( 時に午前10時50分 再開 )

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、歳出の64、65ページの続きからお願いします。

質疑のある方、挙手を求めます。

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

認定こども園整備費のところ、お聞きしたいと思います。

成果報告の141ページになります。こちらのほうですけれども、事業目的、事業成果というところで、ゆめのもりこどもえんの増築とありました。これは、保育園に通いたいという人が増えてきたので整備をすることになっていったのか、もう少し詳しくお聞かせいただければと思います。

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長 (吉野 厚之君)

子育て支援課の吉野でございます。

今、委員がおっしゃるように、定員の数を増やすために増築をしております。保育室のほうを6部屋、それから午睡室、幼児多目的室を各1部屋、面積的にいたしまして、約470㎡ほど増築するように現在進めております。

こういった整備することで現在、定員120名でありますのが、200名ということで、80名増える予定でございます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

こちらのこういった認定こども園というのは、非常に人気が高いと思われまして、またこういった予算も国のほうからもたくさん補助として下りてくるわけですけれども、どこで聞いていい

か分からないので、ちょっとここでお聞かせいただきたいと思うんですけど、確か認定こども園のどこかで、園のバスを運行しているところがあると思うんですけど、私、昨年もちっとお聞きしたところなんですけれども、ちょうど昨年の今ぐらいに静岡のほうで、大変悲しい事故も起きてまして、最近でもまた岡山のほうで、ちょっと園バスとはまた違う事件が起こってしまいました。今、市内のこういったこども園とかで、園バスは一つでよかったですでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。

今、園バスを運行しておりますのが、ゆめのもりこどもえんで1台、それから、ゆうあいこども園で1台、それから、認可外保育施設になりますけれども、OAK TREEのほうで4台運行しております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

ありがとうございます。

園のバスの中に、子どもさんが置き去りにされてしまったという、去年はそういった事件もあって、そういった面に関しては、清須市においては、こういった置き去りの防止のバスの対策等は、どのように行われているのか、お聞かせいただけますか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。

そういった置き去り防止の対応としまして、国の基準のほうに従いまして、国の国庫補助を活用いたしまして、安全装置を導入いたしまして、7月初旬に整備を完了しているところでございます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

しっかり安全装置もつけていただいたということで、今、お聞かせいただきましたし、また、今回起こった岡山のケースだと、御自宅の車で送って行って、保育園におばあちゃんが子どもを、お孫さんになると思いますけれども、置き忘れちゃったというちょっと考えられない事故だなというふうに正直、私思ったんですけれども、例えば、今回は、園のほうは、子どもさんが来てないということを掌握しておきながら、確認をしなかったという点が非常に問題だったと思うんです。こういった、例えば、今日来る予定の子が来てないなというときは、保育園のほうとしては、こども園もそうですけれども、こういった対応をされていますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

吉野でございます。

そういった事件があつてすぐに確認をいたしまして、当然、連絡もなく来ていないお子様につきましては、園のほうから連絡をいたしまして、状況のほうを確認させていただいております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

今、課長の答弁を聞かせていただいて非常に安心いたしました。

こういったことも、去年起きたからもうその後は全然ないというわけではなくて、少しずつ、やはりどちらの地域でも事件になって報道とかもされています。こういったことは、もうこの本市からは絶対出さないということを切に要望して終わります。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

浅妻です。

病児保育費について伺います。

成果報告書の139ページに、利用人数が出てるんですけども、予算書では、利用見込みが400人となっております。また、令和3年度の実績では、251人となっておりますけれども、今回122人ということで、この人数がすごく減っているのは、何か理由がありますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。

令和4年度122人だった主な理由といたしましては、コロナ禍で陽性者や濃厚接触者の隔離等により、自宅に対応するなどか、あと病院のほうに対応できなかったとか、そういった形だというふうに考えております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

そうですね、コロナ禍ということで人数が減ったということなんですけれども、病児保育事業費補助金のページになりますが、142ページのほうに、この病児保育事業をやっている施設に補助金を出しましたという項目の中で、延べ利用人数者が、このユニキッズの場合113人となっています。

まずちょっと確認ですけれども、この事業自体は、ユニキッズ清須さくらに通っている子どもが利用できる病児保育の事業ということでよろしいでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

吉野です。

そのとおりでございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

浅妻です。

はい。ありがとうございます。

これは、ユニキッズ清須さくらだと、受入れ人数自体も約20人ぐらいの園だと思うんですが、その園で令和4年度113人が利用してるということは、もちろん運営上、受け入れられなかったという部分も多かったと思うんですけど、実際は、預けたかったけれども預けられなかったという方が、多かったのかなと思っております。

今、コロナが要因でというお話だったんですけども、少し見ておりましたら、コロナ禍でちょっとカブルームを閉めているような期間もあったようで、今は通常どおり運営されてると思うんですけども、再開されてからの利用人数というのは、今現在はどのような状況になってますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

再開後は、また増加しているということで聞いております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

浅妻です。

ありがとうございます。

そうですね、清須市全体の家庭が利用できる場所ということですので、利用しやすいようにしていただきたいなと思っております。

ちょっとカブルームのホームページを見ますと、再開してからも増加傾向にあるものの、例年のような利用人数ではないというようなことが書いてありまして、その原因といいますか要因といたしますか、そういったものがつかみ切れていないように思うんですけども、カブルームとの連携というか、話し合いみたいなことをされる機会等はあるんでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

吉野でございます。

お話は、私がここに4月に異動してから三、四回ほどお話をさせていただいております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

分かりました、ありがとうございます。

そちらとも連携を取っていただいて、もちろんコロナ禍で、皆さんいろいろ方法が変わったり、働き方が変わったということで、減少しているのかもしれないですけども、一旦、止まったということで、再開したことを知らないとか、そういうこともあるのかなと思いますので、もう一回ちょっと、せつかく病児保育があるので、今でもやはり保護者の方からは、全く知らずに病児保育やってほしいんだよねというお声をいただいたりとか、やはり子どもが熱を出したときが、一番困るよねというようなお話も聞きますので、再度、こういった利用できる場所があるよというような、周知徹底に努めていただけるといいのかなと思っております。

また、ちょっと利用方法等を見たところ、すみません、私も利用したことがないので、細かい利用方法は分からないんですけども、「利用希望日当日の午前8時以降に、利用可能かどうかをお問合せください。」というふうになってます。

でも、やはり働いてる親からすると、その当日にならないと、大概是受け入れていただけと思うんですけど、受け入れられるかどうか判断ができないということになると、ちょっとその日の予定が立たないというようなことにもなるのかなと思います。実際に利用されてる方とか、利用したいという方の御意見も聞いていただいて、ちょっといま一度、周知徹底ですとか、利用方法について、見直しをしていただきたいと思います。こちらは要望とさせていただきます。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

同じく保育対策総合支援費のところでお伺いしたいと思います。

成果報告の143ページですが、こちらもこういった認定こども園等に補助金を使って、保育士さんの確保だと思いますけれども、保育士さんのたくさん、たくさんというかちょっと言い方は変ですが、人材確保をして、この事業成果のところでは、待機児童の解消に寄与することができたとございます。これは、やはり先ほども保育園、こども園の整備費のところ、120名の定員のところ200名に、お部屋をたくさんつくったということで答弁いただきましたけれども、保育士さんもその分、確保しないといけないと思います。こちらのほうも十分な保育士さんの確保もできたということで理解すればよかったですでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。

委員、保育体制強化事業の部分のことをおっしゃってみえるかと思いますが、こちらのほうにつきましては、民間保育所に対しまして、コロナウイルス感染症対策による消毒などに係る保育時間以外にかかる時間外、それから、保育所及び施設に係る感染対策のための消耗品や備品の購入に充てた補助金でございまして、実質的には、保育士を雇うものではございません。ただ、こちらのほうの時間外だとかいう部分に、こちらの補助金を充てることで、保育士の皆さんに頑張ってもらえるような補助金だというふうに考えておりますので、結果的に園のほうを続けて、待機児を出すことがなかったというふうに考えております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

ありがとうございます。

待機児童の解消にということでありましたけれども、苦情を言われたわけではないんですけれども、現場の声として、ちょっとお届けしたいなということがあります。

今現在、保育園に2歳にはなっていないお子さんだと思いますけれども、預けられている方がいらっしやいまして、西枇杷島地区にお住まいの、もちろんお家も購入されて、通っていらっし

やる方がいらっしゃるんです。自分の近くの保育園に、本当は入れる予定で申請を出したんですけども、いろいろな、今、ポイント制とかいろいろなあって、第三希望の清洲地区の保育園に、実際にはこの5月からだったと思いますけれども、通われてる方が、お母さんがいらっしゃるんです。

その方は、本当は西枇杷島で自転車で送って行って、そのまま自分で、そのままお仕事に行かれるという計画だったと思うんですけども、最初の第一希望が外れてしまったので、第三希望で、それでも何とか入れたので、子どもを預けることができたので、自分もそのまま仕事を続けられるので、第三希望の保育園でも預けようということで、お子さんをまず車で清洲地区の保育園に送って行って、その後また戻ってきて、自分がまた自分の支度をして、今度は自転車に乗り換えて、最寄りの駅まで行って仕事に行かれる、ということが続けながらされてる方のお話をお聞きする機会がありました。

お母さんにとって、朝の時間というのは、本当に5分、10分というのは、すごく貴重だと思うんです。それでも預ける先があればということで、こういったのところへ預けられたんだと思いますけれども、またこの人、今度、子どもが学校へ上がるときに、清洲地区の保育園に行きますので、お子さん同士の関係というのは、子どもはすぐ友達になったりはすると思うんですけども、私も子育てしてきた経験から、こういったお母さんたちのつながりというのも非常に情報交換の場だったりして、小学校へ上がるときに、多少大体、一緒だと思うんですけども、違う学校行ったりすると、「こういうふうだね」とか、「こういうものを用意しなきゃね」とか、「どうしてた」というような話がお母さん同士の中でもできたりするんです。この方に関しては、そこまで私が相談を受けて、何かということはないんですけども、実際に学校へ入る時点で、また、近くの保育園に転園を、まだ2歳なんですけれども、まだ何年後かあっても、考えていかなきゃならないということも、ちょっとそういった思いも語られてました。

せっかくこうやって、私もちょっと、認定こども園について、まだまだの勉強不足な面もあるんですけども、こういった「どこかへ預けられればいいわ」というふうに、市民の方が何となく妥協してるところもちょっと正直あるかなあというのもあって、これだけお子さんが生まれて、清須市を選んで子育てをしてみえるという、子育てもしやすく、とても住みやすいという声もすごくお聞きしますので、是非こういった補助金等もしっかり国のほうからも交付をされるということで私も認識をしていますので、市民の方が合わせるというよりも、この受け皿が、こっちで足りなければ、もう一つ、もうちょっと教室を増やそうとか、そういった形で、これだけ選んで

いただいて、子育てをしていただいて、いろんな面で支えていただいている若い世代の方の、また要望もしっかり聞いていただきながら、こういった保育の対策というのは、もう毎年、問題になられてると思いますので、是非大きく舵を切っていただくことを切に要望いたしまして、質問を終わりたいと思います。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

よろしいでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

では、66、67ページ。

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子委員長

浅妻です。

保育園事業費について伺います。

事業費のことではないんですけども、今年度、令和5年度4月より、2歳児は育休退園させないとしていただきまして、この件に関して、本当にすごくたくさんのお喜びの声をいただきます。これがネックで、やはり2人目考えられなかったけど考えられますとか、ずっと変わってほしいと思っていた制度が変わりました、ということで、非常に喜びの声が届いております。本当にありがとうございます。

今、誰でも通園とかいろいろ言われてますけれども、現状は、2歳児まで育休退園させないということになっております。昨年度、令和4年度の時点では、まだこの制度がなかったと思うんですけども、ちなみに令和4年度で、退園しなくてはいけなかった児童数というのが分かりましたら教えていただきたいんです。2歳児と1歳児で、もし分かりましたら、お願いします。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。

令和4年度で育休退園しなければいけなかったお子様は、1歳児ですと3名、2歳児ですと14名が、育休退園のほうをしております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子委員長

ありがとうございます。

今、2歳児まで育休退園させないということで、1歳児で育休退園になるこの人数は、今、お伺いしたとおり3人ということで、数は少ないんですけども、少ないからこそ、もしできましたら、1歳児まで退園させないということにしていだけないかなと思います。こちらは強く要望させていただきまして、終わります。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

保育園諸費のところの需用費のところ、不用額は1千万円以上ありますけれども、ここら辺の理由というのを教えていただいてもいいでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

保育園給食費の賄い材料費でございます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

これは、当初の入所想定数の児童数と実際の入所児童数の違いとして、これを捉えてもいいんでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

吉野でございます。

そのとおりでございます。

以上でございます。

小崎 進一委員

はい、ありがとうございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほかに。

高橋委員。

高橋 哲生委員

保育所費のところ、青いほうの157ページです。

保育利用者のところで、定員に対して、利用者の割合が年々下がってきてるんですけども、この理由というのは、どのように分析してるのでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

加藤健康福祉部長。

健康福祉部長（加藤 久喜君）

健康福祉部の加藤です。

委員のおっしゃるところに関しましては、昨年度の青本のところの人数との差が少なくなってきたということだと思いますけど、確かに表で見ますと、3歳児、4歳児、5歳児のところは児童数が減ってるということで、前年の実績でも少なくなっているというふうに理解はしております。

0から1歳、2歳児に関しましては、まだまだの要望が多いということもありまして、そっちのほうの人は、定員のほうが減ってないという状況と理解しております。

ですから、相対的に子どもさんの数が減ってることも理由かと思っておりますし、あと3歳以上ということもありますので、こちらですと、公立保育園の人数になっておりますけど、認定こども園に移られたりとか、幼稚園のほうに移られたりということだというふうに理解をしております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

高橋です。

そうすると、保育ニーズというのが、今までとだんだん変わってきてるということだと思ふんですけど、民間ですね。

子育て支援計画の第三期でしたか、今、検討してるのは。その中で、ニーズ量とかというのが出てきますよね。ここら辺は、また見直していくんでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

加藤健康福祉部長。

健康福祉部長（加藤 久喜君）

健康福祉部の加藤です。

今、委員が言われましたように、まず、今年度ニーズ量の把握のほうさせていただきますために、アンケート調査のほうをさせていただいておりますので、そのアンケート調査の結果に応じて、またニーズ量のほうを考えていきたいと思っております。

そっちのほうでニーズ量が多くなってくれば、先ほど委員の皆様おっしゃったとおり施設を増築だったりとか、小規模というふうなところとかですね、いろいろなことを考えさせていただきたいと思っておりますけど、まだ今のところ、ちょっと結果のほうは出ておりませんので、まず今年度につきまして、今年度、来年度まで計画がありますけど、施設につきましては、ニーズ量が定足に至ってるかと思っておりますので、今のところは、増員等とかそこら辺のことに関しては考えておりません。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

これ、見直しというのは、何年かに一度しかできない大事な見直しになると思うので、しっかりと現状を見極めてもらって、今まだ調査の結果は出てないと言われるんだけど、明らかに民間のほうのニーズが高まっていると思いますので、以前から申し上げてますように、民営化、統廃合等、進めていっていただきたいと思っております。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほかに66、67ページは。

( 「なし」 の声あり )

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

それでは、68、69ページをお願いします。

( 「なし」 の声あり )

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

ないようですので、70、71ページ。

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

浅妻です。

生活困窮世帯学習応援費について伺います。

成果報告書の170ページになりますが、中学生10人、高校生4人が利用しているということなんですけれども、学習をするということもそうですが、その先、この子たちが進学できているのかというところが、重要になるかなと思うんですけれども、この14人の子どもたちの進学状況と伺いますか、分かりましたら教えてください。

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長 (鈴木 許行君)

社会福祉課の鈴木でございます。

令和4年度につきましては、14名の方が利用されております。そのうち中学3年生が4名利用されております。その4名のうち、全員が希望どおりの高校に進学したということで聞いております。あと残りの12名の方、すみません、8名の方ですね、につきましては、それぞれ級のほうが進級したということで聞いております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

ありがとうございます。

しっかり進学したということを知って安心いたしました。ちなみにこれ、希望すると、どれぐ

らの頻度で通うことになるのでしょうか、教えてください。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木です。

利用の頻度につきましては、週に2回、1回につき90分の授業になっております。利用の曜日と時間帯につきましては、事業者のほうと、あと利用者の方との面談により決めることとなっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

今、週に2回90分ということだったんですけども、通ってる子が、ほとんど週に2回、きちんと通塾しているような状況なのでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木です。

基本的には週に2回行ってみえますが、昨年度につきましては、やはり体調不良、コロナにかかったとかいうことは報告のほうでは来ております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

浅妻副委員長。

浅妻 奈々子副委員長

ありがとうございます。

しっかり通ってるということで、1人当たりの金額等を見て気になっていたんですけども、週2回ということであれば、本当にしっかり学習が受けられていて、適切な金額だなと思えました。学びが、本当に貧困の連鎖を断ち切って、将来を切り開くということになると思いますので、今後とも御支援をお願いします。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほか、70、71ページ。

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

生活困窮者自立相談支援等費のところでお伺いしたいと思います。

成果報告書の168ページですが、相談人数117名の方が、実際に相談があったということで成果報告として上がっておりますけれども、この中にあります住居確保給付金というのは、実際どんなものなのかということと、また、何か条件があるのか教えていただけますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木です。

住居確保給付金の条件についてなんですけども、まず離職等により住居を失った方、また失うおそれがある方に対して、給付する給付金となっております。金額につきましては、生活保護の住宅扶助の扶助額の基準額となっております、主たる生計維持者が、辞職また廃業2年以内の方とか、同程度まで収入のほうが増減している場合につきましては、あと収入要件、預貯金等の要件もございしますが、利用できる形になっております。

詳細につきましては、その収入の条件につきましては、直近の月の世帯の収入が、住民税の均等割が非課税となっている額の12分の1の額と、あと家賃の合計を足して、基準額に超えない額となっております。預貯金額の条件につきましては、基準額の6か月分、上限として100万円までが、100万円を超えない額として、支給条件となっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

様々の条件があると思うんですけれども、実際に117名の方が相談に訪れたということで、

この相談内容を見てましても、やはり収入、生活費、また家賃、ローンのことで、相談内容も非常に多いということで、こういったことを結構、収入生活費に関しては99件とか、結構な相談件数だったと思うんです。合計で376件の相談件数ということで、こういった件数もほぼ解決をしていったような形になりますか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木です。

相談にお見えになった方117人のうち109人の方に、相談者本人の自主性を重視した自立に向けてのプランのほうを作成いたしました。プランを策定したその109人のうち、実際に就労につながった方が15人、支援策が尽きてしまって生活保護になられた方というのがお二人、自己都合等で支援を辞退、終了してしまった方が49人、あと43人の方につきましては支援中ということになっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

相談員さんの方は、いつも本当にとっても寄り添った相談に乗ってくださって、大変感謝をしております。またこういった即生活に関わることだと思いますので、今後とも寄り添った相談体制をお願いしたいと思います。

続けて、もう1点よろしいでしょうか。

隣のページの169ページの生活困窮者就労準備支援費のところでお伺いさせていただきたいと思いますが、去年は5名の方の利用ということで、この方、こういった支援する形になって、実際に就労につながったんでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木です。

実際5名の方が利用されてまして、令和4年度中につきましては、就労につながった方はおみえにならずに、今年度になって、お一人の方が就労につながっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

ありがとうございます。

なかなか就労につながるというのは、本当に大変なことだと思いますが、もう一つお聞かせいただきたいのが、この委託料で、ほぼこの支援費がかかっていると思うんですけども、こういった事業内容を行っている委託先というのは、実際には、どういったところになるのでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木です。

委託業者につきましては、指名競争入札のほうで選考しております。事業所につきましては、一般社団法人愛知福祉振興会のほうが受託して、選定をしております。

選定事業者につきましては、生活困窮支援の分野とか、あと障害支援の分野において、就労活動のサポートをするというような事業を専門的に実施しております、その支援する方の中には、臨床心理士の資格を持った方もおみえになるということでございます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

大変よく分かりました。引き続きこういった御相談にみえた方が就労につながるように、本当に根気強くやっつけていかなきゃいけない事業だと思いますけれども、一人でもこういったお仕事に就けるように、相談員さんをはじめ、大変な御苦勞、窓口の方は御苦勞あると思いますけれども、またお世話おかけいたします。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほかに、70、71ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

では、72ページ、73ページ。

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

成果報告書の176ページです。4款の衛生費の西春日井2次救急医療負担金についてです。

西春日井2次救急医療負担金が、前年度に比べて1千万円以上少なくなっている理由は、どういったことでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

健康推進課長の古川です。

西春日井2次救急医療の負担金のほうは、運営費と医療機器設備費を負担しております。今回、運営費が減少しまして、運営費の内容としましては、人件費とか、救急ベッド確保料などの歳出と、あと診療報酬等の歳入の収支から負担金のほうを出しております。

負担金のほうを出されたら、2市1町で負担してるんですけども、令和4年度におきましては、診療報酬が多かったために運営費の負担金が少なくなりました。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

はい、ありがとうございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほかに、72、73ページ。

高橋委員。

高橋 哲生委員

休日急病診療負担金、コロナで以前のものは中止して、済衆館とはるひ呼吸器さんで実施するという事なんですけど、これは、いつまでこういう状態が続くんでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

今年度におきましても、済衆館病院とはるひ呼吸器病院のほうで1次救急のほうも実施している状況です。今後の在り方については、現在、検討しているところでございます、2市1町医師会広域事務組合で、今後については検討していく予定です。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

高橋です。

コロナということで変わったんですよね、理由として。コロナが落ち着いてきた中で、今どんな検討になってるんですか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

コロナ禍前に実施しておりました西部休日診療所のほうは、老朽化しておきまして、再開するめどのほうが立っていない状況です。

また、東部診療所におきましても、コロナ禍におきましても、施設が狭いという状況がございまして、診療を実施していけるかどうかというのも検討している状況です。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

新たなものをつくってというようなことも検討してるんですか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

それも含めて、検討させていただいております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

いつまでもこんな、こんなというか、状況はよくないと思いますので、早く検討を進めていただいて、答えを出していただきたいと思います。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほかに。

それでは最後、74、75ページ。

岡山委員。

岡山 克彦委員

出産・子育て応援金、成果報告書の216ページ、出産・子育て応援金費、出産・子育て応援支給件数についてですけど、出産応援金の方で、遡及支給妊婦で支給希望なしが一人、子育て応援金のほうで、遡及支給養育者でも支給なしが一人いますが、どのような方でしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

健康推進課の古川です。

出産・子育て応援金の遡及対象者につきましては、出産応援給付金、子育て応援給付金の申請書のほうを個別郵送させていただいております、返信いただいております。

それぞれ1名みえますけれども、同一の方でして、申請の返信がなかったために、お電話のほうで確認させていただきましたら、支給の希望はないということで、申請書のほうに希望なしということで、提出のほうをいただいております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

多分この1名の方、はっきりした理由は分かりませんね。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

はい、不要だということで、お返事をいただいております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

ありがとうございます。

それですね、出産・子育て応援金について、経済的支援と併せて、全ての妊婦、子育ての世帯が安心して出産、子育てできるよう環境整備が課題ですけど、妊婦の方や子育て中の家庭は、どのような支援を行っていますか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

応援金の支給に当たっては、妊娠届け出時に妊婦の方、また生後4か月頃までには、乳児訪問のほうを保健師、助産師のほうがさせていただいております、養育者の方と面接のほうさせていただいております。

アンケートのほうも取っております、そのアンケートと、あと子育てガイドと一緒に確認しながら、その方に合った出産、育児等の見通しを立てて、継続的な情報発信を行い、必要な支援につないでおります。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

ありがとうございます。

以上で終わります。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

久野委員。

久野 茂委員

ちょっとインフルエンザの関係のところでお聞きしますが、何か市内の高校が、明日まで学校閉鎖されてるんですけど、今、市民の方にインフルエンザって増えてるんですか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

健康推進課の古川です。

すみません、ちょっと今、情報の方を持ち合わせていないので、お答えできません。すみません。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

久野委員。

久野 茂委員

分からないということですか。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

はい、すみません。

久野 茂委員

ではいいです。ありがとうございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほかに。

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

予防対策事務費のところでお伺いしたいと思います。

成果報告書の180ページのところをお願いしたいと思います。こちら健康診断、集団検診等で、今まで電話での予約だったんですけども、令和4年度から、このウェブ予約を開始したと

ありましたけれども、このウェブ予約を導入して、どれぐらいの割合だったのかということと、また反響というか、割合が上がってるかもしれないので、そういった反響等あれば教えていただければと思います。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

健康推進課の古川です。

コロナ禍前につきましては、がん検診の申込みを会場受付と電話受付で実施しておりましたが、コロナ禍においては、会場での受付が難しく、電話対応のみで実施しておりました。令和4年度からウェブ予約を導入しましたので、集団検診の予約が24時間可能になったということで、市民の利便性はよくなったと思っておりますけれども、予想外に電話のほうがつながりにくいという状況が令和4年度ございまして、本年度におきましては、問題点を精査しまして、電話のほうの対応もしやすい状況を整備し、本年度、大きなトラブルはなく実施できております。

また、ウェブでの申込みにつきましては、6割程度の方がウェブで申込みのほうをされておきまして、令和4年度も6割がウェブ予約、本年度におきましても、まだ終了しておりませんが、大体6割の方がウェブ予約をされております。

また、ウェブが使えないという高齢者の方とか等につきましては、窓口で一緒にウェブ予約をさせていただいたりだとか、サービスセンターのほうで対応のほうも協力いただいている状況がございます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

ウェブ予約も6割ということで、かなりの方が利用されてるなというふうに印象を受けましたので、また今後もしっかり、私もウェブ予約ってちょっと知らなかったんですけど、こういったまた広報とか様々、公式LINEとかで、また皆さんに周知徹底していただくと、また少しずつ上がっていかれると思いますし、また今、電話がつながりにくかったというそういった問題もしっかり検討されているということで安心しましたので、またこういったものを利用して、検診率

が上がりだと思っています。

続けてよろしいでしょうか。

がん患者アピアランス用品購入費の補助金について、成果報告書の199ページのところで伺いしたいと思います。

これも昨年度途中から始まった事業だと思いますけれども、実際にどれぐらいの方を想定されて、こういった事業を始められましたでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

健康推進課の古川です。

令和4年度の予算を立てるときには、県の試算で、見込みは25件というふうに試算しておりました。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

見込みとほぼ同じぐらい助成件数26件ということで、ほぼ見込みぐらいだったと思いますけれども、令和4年度に関しては26件ということで、1件ぐらい多かったかなぐらいですけれども、例えば、見込みを超えた年なんかは、申請しても見込み過ぎたとしても、そのまま負担はしていただける予定なんではないでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

令和4年度につきましては、予算見込みより1件多い状況でしたけれども、上限2万円になってるんですが、超えない方がみえたということで、予算内で実施のほうできております。

また、令和5年度以降につきましては、申請が見込みより多かった場合も、補助金のほうが交付できるようにしていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

ありがとうございます。

もうここまででもう終わっちゃいましたということがないということで大変安心しましたし、またこういった本当にデリケートな問題でもあると思いますので、引き続き対応をお願いしたいと思います。

あともう一点だけ、よろしいでしょうか。

乳児検診のところでお伺いしたいと思います。

202ページのところです。今年度から新たにさせていただいてます3歳児健診のところ、目の異常、視覚検査のところ新しく始まったと思うんですけども、これは実際にどのような検査をされるのかと、また、この検査をすることによって、どういったことが分かるのか教えていただければと思います。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

古川健康福祉部次長兼健康推進課長。

健康福祉部次長兼健康推進課長（古川 伊都子君）

健康推進課の古川です。

3歳児健診では、以前から視力検査のほうを実施しておりましたけれども、令和4年度から視力検査を補完する目的で、スポットビジョンスクリーナーと呼ばれる屈折検査の機器を用いた検査を始めました。

検査は、少し暗くした部屋で、1m離れた位置から子どもさんに検査機器を向けまして、モニター画面にお子様の目元を表示させて、10秒くらいで測定するものになっております。屈折検査になっておりまして、そちらのほうでは、弱視の原因となる近視や遠視、乱視、斜視などを発見することができます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

非常に短い時間で検査ができるということで、早くそういったお子さんの目の異常も発見できるといことで、昨年度から始めていただいた事業で、大変ありがたく思っています。子どもさんが健やかに育っていくために、今後ともこういった検査よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほかに、74、75ページ。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

よろしいでしょうか。

これで質疑を終了し、認定第1号 令和4年度清須市一般会計決算認定についての所管分について、採決を行います。

原案に賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

全員賛成でございます。

よって、認定第1号 令和4年度清須市一般会計決算認定についての所管分については、原案のとおり認定すべきものと決しました。

ここで、お昼の休憩に入ります。

再開は13時15分とします。よろしくお願ひいたします。

（ 時に午前11時39分 休憩 ）

（ 時に午後 1時15分 再開 ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

休憩前に引き続き、会議を開かせていただきます。

次に、認定第3号 令和4年度清須市介護保険特別会計決算認定について、歳入、歳出、続けて説明をお願いします。

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課の寺社下でございます。

認定第3号について、御説明いたします。

令和4年度清須市歳入歳出決算書介護保険特別会計、142、143ページを御覧ください。  
歳入から御説明いたします。

1 款介護保険料、1 項介護保険料、1 目第1号被保険者保険料、予算現額11億6千643万6千円、収入済額11億6千461万4千812円、不納欠損額743万6千489円、収入未済額1千948万3千440円、1 節現年度分と2 節滞納繰越分です。現年度分の徴収率は99.05%、滞納繰越分の徴収率は11.64%となりました。

2 款使用料及び手数料、1 項手数料、1 目総務手数料、予算現額4万円、収入済額3万円、1 節総務管理手数料です。

3 款国庫支出金、1 項国庫負担金、1 目介護給付費負担金、予算現額8億5千566万5千円、収入済額8億1千804万5千325円、1 節現年度分と2 節過年度分です。

2 項国庫補助金、1 目調整交付金、予算現額1億2千549万2千円、収入済額1億2千187万1千円、1 節現年度分です。

2 目地域支援事業交付金、予算現額5千954万3千円、収入済額5千858万4千185円、1 節現年度分と2 節過年度分です。

3 目保険者機能強化推進交付金、予算現額770万9千円、収入済額695万5千円、1 節保険者機能強化推進交付金です。

4 目介護保険保険者努力支援交付金、予算現額786万6千円、収入済額673万円、1 節介護保険保険者努力支援交付金です。

4 款支払基金交付金、1 項支払基金交付金、1 目介護給付費交付金、予算現額13億3千397万9千円、収入済額12億1千493万4千円、1 節現年度分と2 節過年度分です。

1 枚はねていただきまして、144、145ページを御覧ください。

5 款県支出金、1 項県負担金、1 目介護給付費負担金、予算現額7億813万5千円、収入済額6億5千31万6千円、1 節現年度分と2 節過年度分です。

2 項県補助金、1 目地域支援事業交付金、予算現額3千299万6千円、収入済額3千251万2千25円、1 節現年度分と2 節過年度分です。

6 款財産収入、1 項財産運用収入、1 目利子及び配当金、予算現額14万4千円、収入済額14万3千668円、1 節利子及び配当金です。

7 款繰入金、1 項他会計繰入金、1 目一般会計繰入金、予算現額7億9千997万2千円、収入済額7億9千997万2千円、1 節職員給与費等繰入金から4 節地域支援事業繰入金までです。

2項基金繰入金、1目介護給付費準備基金繰入金、予算現額4千413万5千円、収入済額4千413万5千円、1節介護給付費準備基金繰入金です。

8款繰越金、1項繰越金、1目繰越金、予算現額2億9千649万8千円、収入済額2億9千649万8千103円、1節繰越金です。

9款諸収入、1項延滞金、加算金及び過料、1目延滞金、予算現額1千円、収入済額10万100円、はねていただきまして、146、147ページをお願いいたします。1節第1号被保険者延滞金です。

2項雑入、1目第三者納付金、予算現額1千円、収入済額はありません。1節第三者納付金です。

2目返納金、予算現額1千円、収入済額はありません。1節返納金です。

3目雑入、予算現額6万1千円、収入済額19万1千165円、1節雑入です。

続いて、歳出を御説明いたします。

1枚はねていただきまして、148、149ページを御覧ください。

1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、予算現額8千60万5千円、支出済額7千902万4千920円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金までです。

2項徴収費、1目賦課徴収費、予算現額341万5千円、支出済額293万4千781円、10節需用費から12節委託料までです。

3項介護認定審査会費、1目介護認定審査会費、予算現額761万円、支出済額550万2千695円、1節報酬から11節役務費までです。

2目認定調査等費、予算現額1千878万5千円、支出済額1千286万9千947円、10節需用費から12節委託料までです。

4項趣旨普及費、1目趣旨普及費、予算現額20万円、支出済額18万9千198円。1枚はねていただきまして、150、151ページを御覧ください。10節需用費です。

2款保険給付費、1項介護サービス等費、1目介護サービス等費、予算現額45億3千657万5千円、支出済額41億7千490万8千914円、18節負担金、補助及び交付金です。

2項その他諸費、1目審査支払手数料、予算現額253万8千円、支出済額249万5千479円、12節委託料です。

3項高額介護サービス費、1目高額介護サービス費、予算現額1億5千622万円、支出済額1億3千649万2千354円、18節負担金、補助及び交付金です。

4項特定入所者介護サービス費、1目特定入所者介護サービス費、予算現額1億1千635万円、支出済額9千919万499円、18節負担金、補助及び交付金です。

3款地域支援事業費、1項介護予防・生活支援サービス事業費、1目サービス事業費、予算現額8千996万1千円、支出済額7千729万1千287円、11節役務費から18節負担金、補助及び交付金です。

2目介護予防ケアマネジメント事業費、予算現額1千168万5千円、支出済額998万6千768円、8節旅費から18節負担金、補助及び交付金までです。

はねていただきまして、152、153ページ、同じく2項一般介護予防事業費、1目一般介護予防事業費、予算現額2千717万円、支出済額2千399万1千370円、1節報酬から13節使用料及び賃借料までです。

3項包括的支援事業・任意事業費、1目包括的支援事業費、予算現額8千397万1千円、支出済額8千359万4千368円、7節報償費から18節負担金、補助及び交付金までです。

2目任意事業費、予算現額368万8千円、支出済額83万7千239円、7節報償費から19節扶助費までです。

4項その他諸費、1目審査支払手数料、予算現額22万6千円、支出済額20万1千578円、1枚はねていただきまして、154、155ページを御覧ください。12節委託料です。

4款基金積立金、1項基金積立金、1目介護給付費準備基金積立金、予算現額1億5千510万円、支出済額1億5千509万9千668円、24節積立金です。

5款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、1目第1号保険者保険料還付金、予算現額600万円、支出済額576万4千800円、22節償還金、利子及び割引料です。

2目第1号被保険者還付加算金、予算現額1千円、支出済額はありません。22節償還金、利子及び割引料です。

3目償還金、予算現額8千377万4千円、支出済額8千377万2千498円、22節償還金、利子及び割引料です。

2項繰出金、1目一般会計繰出金、予算現額5千380万円、支出済額5千379万9千180円、27節繰出金です。

6款予備費、1項予備費、1目予備費、予算現額100万円、支出済額はありません。

認定第3号の御説明は、以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願いいたします。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

それでは、質疑に入ります。

質疑のある方の挙手を求めます。

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

3点ほど、お伺いさせていただきます。

まず決算書の150ページ、151ページの、介護サービス等費の介護給付金で、不用額のところでは3億6千万円ほど不用額となっていますけれども、こちらは昨年、令和4年度はコロナの影響もあって、あまり使われなかったということによろしいでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

寺社下でございます。

委員のおっしゃるとおり、コロナによる利用控えが大きくて、各サービスにおいて、想定より利用量が少なく、特に、通所介護やショートステイでは、利用が減少しております。

また、令和4年度に、市内に開設した特定施設入居者生活介護事業所も入所者数が想定よりも少なく、軽度者の入所も多かったため、給付費が伸びませんでした。

あと特別養護老人ホームの施設サービスの入所者数についても、想定ほど伸びなかったことも影響しているというふうに考えております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

ありがとうございます。

あと、154ページ、155ページの、介護給付費準備基金積立金について、少しお伺いさせていただきたいと思うのですが、先日も一般質問でされておりましたけれども、1億5千万円ほど基金に積み立てたということであると思いますが、これも利用控えもあって、これぐらい積み立てられたのかということと、また、令和5年度が介護保険料等を決めていく最後の計画

の最終年度と、今年度とか令和5年度がなると思うんですけれども、この積立てをしたことによって、介護保険料がまたちょっと変わってくるのかと。

あと先ほど課長のほうがおっしゃいましたけれども、去年はコロナで利用控え等もあったということで、あまり給付金のほうも出なかったということで、これだけ積立てができたということなんですけれども、コロナも落ち着いて、介護サービス等の利用者もまた引き続き利用されたりとか、事業所も昨年度はなくなったということもこの間おっしゃってましたけれども、利用者が増えるけど事業所がなくなってしまった場合、そういったことで何か困っているような影響とか、そのあたりもあれば教えていただきたいと思います。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

まず1点目の1億5千万円に関しましては、先ほど御説明させていただいたように、コロナ禍において利用控えがあったということで捉えております。

あと、このお金に関しましては、介護給付費準備基金に関しましては、計画年度期間内に必要な給付等に対して、安定した保険給付の提供に努めるために活用するものでありますので、最終年に残った基金は、次期計画において取崩しを行い、介護保険料の負担軽減を図ることとしております。

3点目につきましては、廃止した事業所もございしますが、ほかのサービス事業所が開設しているところもございしますので、利用者の方が、事業所がなくてサービスが利用できないということは生じてはおりません。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

事業所がなくなってしまったので、どうかなと思ったんですけれども、また新しく開設しているところがあるというふうに、今、御答弁いただきましたので、利用される方も年々増えてるというのちょっと数的にも出てますので、そういった点では非常に安心しましたので、また引き続きお願いしたいと思います。

あと最後1点ですけれども、介護サービスとか、また介護給付金を抑えるために、主要施策の中でも394、395の中でも、いこまいか教室の成果報告についても出されておりますけれども、今現在、どれぐらいの教室が、市内にはあるのか教えていただけますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

いこまいか教室につきましては、令和4年度の最終では25か所で、また、今年度は、新川地区の西町で新たに1か所、今現在は、26か所のいこまいか教室を実施しております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

私もたまに参加をさせていただくんですけれども、実際に参加された方のお話をお伺いすると、1週間に一度のことではありますが、体を動かすのはもちろんのこと、何か頭の体操も先生のほうがしてくださったりとか、またさらに住民さん同士の交流にもなっているのはすごく感じますので、たくさんの教室が少しでも増えればいいなと思ってますけれども、近くでこういった体操教室があったりすることが、すごく大事だと思うんですけれども、そういった増やしていくことに対して、何か考えてみえることとかがあれば、最後、お聞かせください。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢者の方が、歩いて行けるところで教室を開催するというのは、すごく介護予防の効果があるというふうに思っています。いこまいか教室に参加してる方というのが、平均年齢70歳後半、80歳近い方が参加しているという結果にもなっておりますので、そういった方々は、今後、介護認定の認定率が75歳を超えると、どんどん高くなっていくという現状もございますので、いこまいか教室のような教室に参加いただけるというのは、介護予防につながっておりますので、今後、できる限りいろいろな地区で、いこまいか教室が開催していただけるように、働きかけていきたいと思っております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

土本委員。

土本 千亜紀委員

土本です。

是非1教室でも2教室でも、年々増えていくようお願いをして、質問を終わらせていただきます。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

ページ数は149ページで、1款総務費、3項介護認定審査会費、2目の認定調査等費、主要施策は395ページです。

認定調査費の委託料について、予算に対して支出が少なく、不用額が増えているのはどうしてなのでしょう。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

令和4年度、新型コロナウイルス感染症が収束せずに、認定期間について、臨時的な取扱いとして、新型コロナウイルス感染症の影響により面会が困難な場合において、認定の有効期間を、従来の期間に新たに12か月までの範囲で、市町村が定める期間を合算できることになりましたので、有効期間が延びたことによって調査が不要になったことと、市直営の認定調査員のほうを雇用しましたので、居宅介護支援事業所への委託数を減らすことができたことによるものです。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

ありがとうございます。

では、令和4年度で認定期間を延長した人、何人いらっしゃいますか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

延長した方は、122名です。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

この延長の制度は、いつまで続くんですか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

延長の制度は、令和4年度末で終了をしております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

介護認定の調査員は、何人いらっしゃいますか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

現在は、6名おります。

勤務日数とか勤務時間とか、まちまちなんですけれども、会計年度任用職員として、6名雇用しております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

では、令和4年度、会計年度任用職員が調査した人数と委託した人数、分かりますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

令和4年度、市が直接、会計年度任用職員が調査したのは1千704人、委託をさせていただいたのが549人で、約75%を自前の会計年度任用職員で調査をしております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

岡山です。

これ、事前に調査をすることのメリットは、どんなことがありますか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

自前で調査すると、会計年度任用職員の調査をするのは、主に初めて介護保険を申請される新規の申請の方や、体の状態が変わったことによる区分変更申請を職員が行っておりますが、地域の方については、調査時に介護保険制度やサービス内容の質問をされる方も多いため、丁寧に説明をさせていただいております。

調査内容とか項目の判断基準とかは、国で定められて決められているんですけども、それぞれ皆様、お体の状態が異なっていってしまうので、詳細な部分での判断などが、会計年度の調査員ですと統一が図りやすいなどのメリットがございます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

岡山委員。

岡山 克彦委員

こと細かく説明ありがとうございます。介護認定を受ける方にとっては、要介護は重要なものになります。引き続き丁寧な調査をお願いいたします。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

152、53ページ、成果報告書の396ページ、包括的支援事業について、包括支援センター費が、昨年の令和3年度に比較して約1千200万円ほど増額になっています。年度の途中から包括支援センターが2か所となりましたが、人員等も増え、増額となっていると思われませんが、再度、配置職員の数等を教えていただけますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

地域包括支援センターにつきましては、もともとありました清洲総合福祉センターに加えて、新たに令和4年の6月に、にしびさわやかプラザ内に設置をさせていただいて、より身近な場所で相談ができる体制をつくりました。

職員の人員配置につきましては、包括支援センターの運営に必要な社会福祉士、保健師、看護師、主任ケアマネなどの専門職を配置しておりますが、前年度と比較して、増員して対応しております。令和3年度は、正規職員、臨時職員を合わせて16名だったのに対し、令和4年度からは、正規職員、臨時職員合わせて、清洲総合福祉センターに10人、にしびさわやかプラザに10人、合計20人配置をしております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

ありがとうございます。

相談件数というのは、どのようになっていますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

令和4年度に関しましては、清洲、春日地区では年間に延べ7千473件、西枇杷島、新川地区では8千759件、合計1万6千351件となっております。前年度の約1万1千件と比較して、かなり多く御相談をいただいております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

2か所になって、市民の方の反応や声などは聞いてみえますでしょうか。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

身近な場所に地域包括支援センターができたことで、地域でのセンターの認知度が上がり、相談がしやすくなったというふうなお声を聞いております。

また、包括支援センターの職員も、距離が近くなったので訪問もしやすくなり、それぞれの地区の特性なども把握しやすくて、支援も行いやすくなったというふうに聞いております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

小崎委員。

小崎 進一委員

ありがとうございます。

身近に包括支援センターができたことによって、相談しやすい体制が構築されたと思います。今後、ひとり暮らしや高齢者世帯が増える中で、介護が必要になる方や認知症の方、複合的な問題を抱える方も増加することが予想されます。

今後も、引き続き市と包括と連携を図り、市民に寄り添った支援を続けていただくようお願いいたします。

以上で終わります。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほか、よろしいでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

これで質疑を終了し、認定第3号 令和4年度清須市介護保険特別会計決算認定についての採決を行います。

原案に賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

全員賛成でございます。

よって、認定第3号 令和4年度清須市介護保険特別会計決算認定については、原案のとおり認定すべきものと決しました。

次に、議案第46号 令和5年度清須市一般会計補正予算（第5号）案の所管分について、説明をお願いします。

吉野次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（吉野 厚之君）

子育て支援課の吉野でございます。

議案第46号 令和5年度清須市一般会計補正予算（第5号）案のうち、健康福祉部所管分につきましては、私のほうから一括で、朗読説明をさせていただきます。

令和5年度一般会計特別会計補正予算書及び説明書の8ページ、9ページを御覧ください。

3段目のところでございます。

15款国庫支出金、2項国庫補助金、2目民生費国庫補助金、補正額173万9千円の増額、2節児童福祉費補助金と3節生活保護費補助金です。

16款県支出金、1項県負担金、1目民生費県負担金、補正額34万1千円の増額、2節児童福祉費負担金です。

18款寄附金、1項寄附金、3目民生費寄附金、補正額10万円の増額、1節社会福祉費寄附金です。

1枚はねていただきまして、10ページ、11ページを御覧ください。

19款繰入金、1項特別会計繰入金、2目介護保険特別会計繰入金、補正額6千421万6千

円の増額、1節介護保険特別会計繰入金です。

下から2段目、21款諸収入、5項雑入、2目雑入、補正額110万1千円の増額、3節民生費雑入です。

続きまして、歳出になります。

12ページ、13ページを御覧ください。

中段になります。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、補正額2千2万1千円の増額、健康福祉部所管分は、22節償還金、利子及び割引料になります。説明欄を御覧いただきまして、社会福祉事務費は、生活困窮者自立相談支援事業等の前年度交付金精算に伴う返還金の増額です。

2目障害者福祉費、補正額1千376万1千円の増額、22節償還金、利子及び割引料です。説明欄を御覧いただきまして、障害者総合支援費、障害者手当費の前年度交付金精算に伴う返還金の増額です。

3目高齢者福祉費、補正額113万1千円の増額、22節償還金、利子及び割引料です。説明欄を御覧いただきまして、高齢者福祉事務費は、介護施設等整備事業費等の前年度交付金精算に伴う返還金の増額です。

2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、補正額3千27万3千円の増額、22節償還金、利子及び割引料です。説明欄を御覧いただきまして、児童福祉事務費は、子ども家庭総合支援拠点運営費、施設型給付費及び地域型保育給付費、保育環境改善等事業費及び子育て世帯生活支援特別給付金費に対する前年度交付金精算に伴う返還金の増額です。

1枚はねていただきまして、14ページ、15ページを御覧ください。

3項生活保護費、1目生活保護総務費、補正額3千735万7千円の増額、12節委託料と22節償還金、利子及び割引料です。説明欄を御覧いただきまして、生活保護事務費は、生活保護システム改修費及び生活保護費の前年度交付金精算に伴う返還金の増額です。

4款衛生費、1項保健衛生費、2目予防費、補正額147万5千円の増額、22節償還金、利子及び割引料です。説明欄を御覧いただきまして、予防対策費、母子保健費の前年度交付金精算に伴う返還金の増額です。

令和5年度一般会計補正予算健康福祉部所管分につきましては、以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願いいたします。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

それでは、質疑に入ります。

質疑のある方の挙手を願います。

久野委員。

久野 茂委員

14、15ページの生活保護総務費の委託料の内容をお願いいたします。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木です。

こちらのほうの委託料の中身なんですけども、生活保護世帯の方に支給する生活保護費の基準額が、5年に一度見直されることに伴うシステム改修と、あと国のほうからの調査に関する調査項目のほうは、追加になるためのシステム改修の委託料でございます。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

久野委員。

久野 茂委員

コロナや物価高騰の影響があると思いますが、生活保護を受給されている方の動向はどうでしょうか、お願いします。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

鈴木社会福祉課長。

社会福祉課長（鈴木 許行君）

社会福祉課の鈴木です。

令和3年度、令和4年度につきましては、横ばいの状況でございました。令和5年度に入りまして、若干、増加傾向となっております。

以上でございます。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

久野委員。

久野 茂委員

物価高騰の影響もあり、生活に困っていらっしゃる方もおみえになります。支援策により、充

実した生活が送れるよう支援していただけるよう、よろしく願いいたします。

以上です。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

ほかに、質疑はございませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

これで質疑を終了し、議案第46号 令和5年度清須市一般会計補正予算（第5号）案の所管分について、採決を行います。

原案に賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

全員賛成でございます。

よって、議案第46号 令和5年度清須市一般会計補正予算（第5号）案の所管分については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第48号 令和5年度清須市介護保険特別会計補正予算（第1号）案について、説明をお願いします。

寺社下高齢福祉課長。

高齢福祉課長（寺社下 葉子君）

高齢福祉課長の寺社下でございます。

議案第48号について、御説明いたします。

令和5年度介護保険特別会計補正予算（第1号）に関する説明書の38、39ページを御覧ください。

歳入から御説明いたします。

4款支払基金交付金、1項支払基金交付金、1目介護給付費交付金、補正額1千142万4千円の増額、2節過年度分で、説明欄にありますように、令和4年度の介護給付費分の精算に伴う支払基金交付金の増額分です。

8款繰越金、1項繰越金、1目繰越金、補正額2億768万3千円の増額、1節繰越金です。

1枚はねていただきまして、40、41ページを御覧ください。

歳出を御説明いたします。

4 款基金積立金、1 項基金積立金、1 目介護給付費準備基金積立金、補正額 1 億 9 7 5 万 9 千円の増額、2 4 節積立金です。

5 款諸支出金、1 項償還金及び還付加算金、3 目償還金、補正額 4 千 5 1 3 万 2 千円の増額、2 2 節償還金、利子及び割引料です。説明欄にありますように、国庫支出金、県支出金の精算に伴う返還金と、支払基金交付金返還金は地域支援事業費分の精算に伴う返還金です。

5 款諸支出金、2 項繰出金、1 目一般会計繰出金、補正額 6 千 4 2 1 万 6 千円、2 7 節繰出金です。説明欄にありますように、精算に伴う一般会計からの繰出金です。

議案第 4 8 号の説明は、以上でございます。

御審議のほど、よろしく願いいたします。

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

それでは、質疑に入ります。

質疑のある方の挙手を願います。

（ 「なし」の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

これで質疑を終了し、議案第 4 8 号 令和 5 年度清須市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）案について、採決を行います。

原案に賛成の方の挙手を願います。

< 挙 手 全 員 >

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

全員賛成でございます。

よって、議案第 4 8 号 令和 5 年度清須市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、福祉常任委員会に付託された全議案等についての審査は、終了しました。

なお、従来どおり、常任委員会の閉会中の継続審査を議長に申し出ることに御異議ございませんか。

（ 「異議なし」の声あり ）

福祉常任委員会委員長（山内 徳彦君）

御異議はございませんので、閉会中の継続審査の申出書を議長に提出します。

また、委員長報告につきましては、正副委員長に一任していただくことに御異議ございません

か。

( 「異議なし」の声あり )

福祉常任委員会委員長 (山内 徳彦君)

御異議がございませんので、そのように決定します。

これをもちまして、福祉常任委員会を閉会します。2日間にわたる審査、お疲れさまでございました。

( 時に午後 1時53分 閉会 )

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和5年9月12日

福祉常任委員会委員長 山 内 徳 彦